

「困難な暮らし」を乗り越えるための支援

「困難な暮らし」を乗り越えるための支援。地域トピックス

**米谷地域づくり推進協議会**  
 (登米市米谷公民館)  
 住所 登米市東郷町米谷字和道 75 番地  
 電話 0220-53-2006  
 HP https://miyagi-maiya.jp/

**米川地域振興会**  
 (登米市米川公民館)  
 住所 登米市東郷町米川字四十田 25 番地 1  
 電話 0220-53-4155  
 HP http://miyagi-yonekawa.com/

**オレンジカフェ(認知症カフェ)Now or Never 実行委員会**  
 電話 090-7329-4277 (NAO MUSIC OFFICE 山本直子)  
 FB 「癒しの音楽カフェ」  
 0220-22-1152 (登米市追分地域包括支援センター)  
 Now or Never」で検索！

「コロナ禍だからこそ活動をしたい！」

「オレンジカフェ」は、身近にあるカフェのように気軽に音楽を聴きながら、認知症の相談を行ったり、参加者同士の交流などを楽しんで過ごす場づくりを目的として各自自治体で取り組まれています。オレンジカフェ(認知症カフェ) Now or Never 実行委員会では、2017年より登米市内各地で「癒しの音楽カフェ」を開催しており、ピアメントでもある代表の山本さんとゲストミュージシャンによるミニコンサートや認知症サポーターの協力により認知症の正しい知識と理解を深めるセミナーや個別相談にも対応しています。他にも市の地域包括支援センターと連携することで、暮らしに係る相談の機会や情報が得られ、「癒し」「学び」「安心」の場所になっています。

「コロナ禍だからこそ活動をしたい！」

コロナ禍により、2か月に一度開催していたカフェが実施できなくなった時期に、「コロナ禍だからこそ活動をしたい！」との想いから、認知症カフェの動画番組「オレンジカフェ」をYouTubeでスタート。メンバーの皆さん企画・撮影したライブ演奏や認知症セミナー、介護予防の体験などを毎週水曜日に投稿しています。また今年8月には新たな取組として、ORANGE IN STORE LIVEを開催。市内の商店の協力を得て、お買い物ついでに誰でも聴くことができるミニライブ演奏と介護士による相談会を行い、感染対策を図りながら気軽に参加できるように活動しています。

イベントの開催などの情報は、Facebook ページで発信していますので、ご興味のある方はフォロー＆いいね！でチェックしてみてください。

代表 山本 直子 氏

地域トピックス

「困難な暮らし」を乗り越えるための支援。地域トピックス

Information

こんな時はプラザへ！

- 子どもの居場所づくりをしたいな...
- 印刷機あります！
- 安くコピーできたらなあ...
- NPO法人に興味あるけど...
- 一緒に活動してくれる仲間ができた！
- 100円で500枚も印刷できた♪
- NPO法人の立ち上げ方、勉強会、講座などの情報をもらえた

MAP

とめ市民活動プラザ (アルテラスおおあみ内)

●開館時間 火曜日～日曜日 / 10:00～18:00  
 ●休館日 毎週 月曜日 年末年始 (12月29日～1月3日)

フェイスブック やってます  
 いいね！&フォローをお願いします♪

ラジオで活動紹介イベント告知をしよう！  
 76.7MHz HO!FM 「まるっと！とめ Like」  
 毎月第2第4火曜日 お昼12:30から放送中

お気軽にご相談ください！  
 佐藤マネージャー

Facebook

ホームページ

住所 〒987-0511 宮城県登米市追分町佐沼字大綱 390-15  
 TEL 0220-44-4167 (アルテラスおおあみ内)  
 FAX 0220-44-4877  
 Email npo@tome-shiminplaza.jp  
 HP http://www.tome-shiminplaza.jp/  
 発行月 2022年9月  
 発行/編集 登米市・とめ市民活動プラザ (NPO法人とめタウンネット)

おらっととめ R4.9 Vol. 46

とめ市民活動プラザニュース TAKE FREE



9月3日(土)、登米市東郷公民館を会場に、みんなの居場所「みな・みかた楽集会」が開催されました。この活動は、地域の市民活動団体と東郷公民館が協働して、子どもたちや保護者の皆さんの居場所づくりを目的に、毎月1回行っています。今回は、読み聞かせサークル「おおきな木」の協力を得て、『花火を打ち上げよう』をテーマに、絵の具やトイレットペーパーの芯を使って花火を描くワークショップに親子で取り組みました。他にも読み聞かせの時間があったりと、未就学児から小学生、保護者の皆さんの総勢26名が楽しい時間を過ごしていました。「地域のぬくもりのあるつながりづくり」を目指している楽集会。今後も楽しみですね！

花火を描くワークショップ

お問い合わせ  
 みんなの居場所「みな・みかた楽集会」  
 Facebook ホームページにてご連絡ください

ぜひ情報をおよせください！

## 登米市地域づくりミーティングを開催しました！ (主催：登米市まちづくり推進部市民協働課 / とめ市民活動プラザ)

### 第2回ミーティング 7月20日(水)



登米市広報係の職員を講師に迎え、主に紙媒体における情報発信のポイントについて学びました。登米市の広報紙「広報とめ」は、昨年度まで9年連続で全国広報コンクールに宮城県代表として推薦され、広報紙(市部)の部で「入選2席」に選ばれています。公民館だより等のレイアウトや見せ方、読んでもらうためのコツ、写真の撮り方など、たくさんのアドバイスをいただきました。

講師：登米市まちづくり推進部 まちづくり推進課  
広報係 課長補佐兼係長 佐々木 健 氏

### 第3回ミーティング 9月8日(木)



新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた移動視察研修をオンラインに変更し、白石市の地域運営組織に係る施策の情報提供と斎川公民館で取り組まれている「公民館を核とした地域づくり」について学びました。中学生以上全住民アンケートの分析結果を事業につなげる工夫や、若者世代が地域活動に参画してもらうためのポイントなど、具体的な例をあげてお話しいただきました。

情報提供：白石市市民経済部 まちづくり推進課  
まちづくり支援係長 佐々木 さつき 氏

講師：白石市斎川公民館 斎川まちづくり協議会  
事務長 佐藤 幸枝 氏

## とめプラザ活動 NEWS 「地域コミュニティ」&「市民活動団体」との協働事業をご紹介します！

### 想いを事業に！「とよさとタウンカフェ」(主催：豊里コミュニティ推進協議会「とよさとタウンカフェ」、共催：とめ市民活動プラザ)

地域の若者が集まり個々のスキルアップや地域づくりを楽しく盛り上げていくことを目的に、同コミュニティ組織が取り組む「とよさとタウンカフェ」において、端材等を活用した「DIY 教室 メッセージボードづくりに挑戦！」が開催されました。

今回は、同カフェのメンバーで建設や電気工事を生業とするお二人が講師となり丸ノコなどの電動工具の使い方を指導してもらい、参加者の皆さんは初めての体験を楽しみながらメッセージボードを作成しました。

とよさとタウンカフェでは、毎月1回水曜日の夜に公民館に集まり、地域活動についての情報交換や企画提案などを行いながら、様々な事業に取り組んでいます。タウンカフェのメンバーを随時募集中とのことですので、ご興味がある豊里地区在住で20歳～40歳代の方は、公民館までお問い合わせください！

お問合せ ➡ 豊里コミュニティ推進協議会「とよさとタウンカフェ」 電話：0225-76-2237(登米市豊里公民館)



### ワークショップ『登米市らしい図書館とは？』(主催：登米市の図書館を考える会、共催：とめ市民活動プラザ)

本や図書館に興味関心のある小学6年生から70代の皆さん25名が集い、理想の図書館について楽しく考えるワークショップが開催されました。

1つ目のテーマは「登米市らしい図書館」について。4つのグループに分かれ、和やかな雰囲気の中、各々の想いやアイデア等を付箋に記入し、コメントを添えて発表しました。「なるほど！」「そうだね！」といった声があちこちで聞こえ、他の人の発表に感心している様子で、初めてワークショップを体験する方がほとんどでしたが、どのグループも盛り上がっていました。続いて、付箋をカテゴリー別に分けてタイトル(見出し)を記入しました。作業は大変そうでしたが、第3者にも分かりやすくするためと、出されたアイデア等の再確認に大切な共同作業となりました。2つ目のテーマ「今の図書館がよりよくなるために」についても同様に行いました。

テーマに沿って自分の想いや考えていたことを分かりやすく伝え、他の人の声もしっかり聞くことで、スキルアップにもつながるワークショップ。考える会代表の佐藤直也さんは、「貴重な声をたくさん聞くことができ感謝しています。大事に役立てていきます！」と、熱く語りました。

Facebook ページがあります。「登米市の図書館を考える会」で検索！



## 助成金情報

### 子どもゆめ基金

#### ●支援内容

子どもの健全な育成を図ることを目的に、令和5年4月1日以降に開始し、令和6年3月31日までに終了する、次の(1)(2)の子どもの体験活動・読書活動への助成を行います。

- (1) 子どもを対象とする体験活動や読書活動
- (2) 子どもを対象とする体験活動や読書活動を支援する活動

#### ●対象団体

- (1) 公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人、一般財団法人
- (2) 特定非営利活動法人
- (3) 上記(1)(2)以外の法人格を有する団体
- (4) 法人格を有しないが、活動を実施するための体制が整っていると認められる団体

#### ●助成金額

全国規模の活動は600万円、都道府県規模の活動は200万円、市区町村規模の活動は100万円

#### ●申請期間

電子申請 10月1日(土)～11月29日(火)  
17:00 締切

#### ●連絡先

独立行政法人 国立青少年教育振興機構  
子どもゆめ基金部  
子どもゆめ基金フリーダイヤル(無料)  
TEL 0120-579-081(平日9:00～17:45)  
HP <https://yumekikin.niye.go.jp/>



### 令和5年度 「キリン・地域のちから応援事業」公募助成

障害があってもなくても、高齢者でも子どもでも、日本人でも外国人でも、同じ地域やコミュニティで生活する一員として、共に理解し合い・支え合う共生社会の実現を願い、地域における障害児・者、高齢者、子どもなどの福祉向上に関わる、次のような幅広いボランティア活動を実施する団体に対して助成します。

#### ●助成対象となる事業

- (1) 子ども・子育て世代の福祉向上に関わるもの
- (2) シルバー世代の福祉向上に関わるもの
- (3) 障害や困りごとのある人・支える人の福祉向上に関わるもの
- (4) 地域やコミュニティの活性化に関わるもの

#### ●対象団体

- (1) 4名以上のメンバーが活動する団体・グループであること ※NPOなどの法人格の有無、および活動年数は問いません
- (2) 連絡責任者は満18歳以上であること ※年齢は令和5年4月1日(土)現在の満年齢とします

#### ●助成金額

1件あたりの上限額30万円(総額4,500万円)

#### ●募集締切

10月31日(月) 当日消印有効

#### ●連絡先

公益財団法人 キリン福祉財団 事務局(北村・太田)  
TEL 03-6837-7013  
HP <https://foundation.kirinholdings.com/>



### SOMPO 環境財団 「環境保全プロジェクト助成」

SOMPO 環境財団では、環境問題に取り組む NPO・NGO や任意団体の環境保全プロジェクトが、より充実したものとなるよう資金助成を行います。

#### ●対象となるプロジェクト

- 次の3つの条件を満たすプロジェクトが対象
- ① 原則として、国内において「自然保護」「環境教育」「リサイクル」「気候変動対応」など広く環境に関する分野で、実践的活動や普及啓発活動を行うもの
- ② 原則として2022年度中に開始予定のもの(すでに開始されているプロジェクトも対象)
- ③ 継続性、発展性を持つプロジェクトであり、その成果が公益のために貢献するもの

#### ●対象団体

- 次の2つの条件を満たす団体が対象となります
- ① 2022年12月末時点で公益法人、NPO法人または任意団体としての環境保全活動実績が2年以上あること
- ② 助成対象となったプロジェクトの実施状況および収支状況について適正に報告できること

#### ●助成金額

20万円を上限(10団体程度、総額200万円を予定)

#### ●募集締切

10月31日(月) 当日消印有効

#### ●連絡先

公益財団法人 SOMPO 環境財団  
TEL 03-3349-4614  
HP <https://www.sompo-ef.org/>

